

○第一部最優秀賞 青森県農協中央会会長賞

おいしかったよ。ありがとう。

古間木小学校（三沢市）

二年 四木 心翔（しき・まなと）

「田んぼのお水を見に行くよ。」

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、米作りののうかをしています。ぼくは、おじいちゃんとおばあちゃんがそだてているお米をまい日たべているから、元気にあそんだり、走ったりすることができます。

夏休みにおとまりに行った時、おじいちゃんが田んぼや、川や、よう水ろの見まわりにつれて行ってくれました。その時に、おじいちゃんが言っていました。「川には魚がいるんだよ。それをつかまえてかえって、おばあちゃんにりょうりしてもらってたべれるんだよ。」

ぼくは、びっくりしました。お魚さんがすんでいるっていうことは、お水がきれいなんだと思いました。だから、おじいちゃんたちが作ったお米は、おいしいんだとわかりました。

まい日、まい日、あさも夜も見まわりに行くのは大へんだと思います。ぼくのお手つだいは、まい日つづきません。くつのせいりせいとんのお手つだいも、いつも、うっかりわすれてしまうので、お母さんに言われてからやっています。まい日やるのは大へんです。

ぼくはお母さんが作ってくれるベーコンまきおにぎりと、みそおにぎりが大好きです。そして、じつはシチューといっしょにたべるのも好きです。そう言えば、お母さんには、

「ごちそうさまでした。おいしかったよ。」

と言うけれど、おじいちゃんとおばあちゃんには、

「お米を作ってくれて、ありがとう。」

って言ったことがあります。こんど、あそびに行った時、ちゃんと言おうと思います。そして、お米をもりもりたべて、どんどん大きくなって、かっこいいバスケットせんしゅになりたいです。おじいちゃん、おばあちゃん、ぼくの場合を見に来てね。